

ブドウサンショウの生態と増産に向けた取り組み

和歌山県立有田中央高等学校 教諭 仲里長浩

【要約】

本研究は地域の高齢化対策と増産に向けた取り組みの一環として実施してきた内容である。今回紹介するのは、ミカン科のブドウサンショウが雌雄異株の果樹であるという異色の生態であることから、花の咲く時期や生産物の利用の可能性について話をまとめた。次に管理作業の軽減を見据えた防草シートの有効性を検証した。さらに、ブドウサンショウの接ぎ木技術の向上を目指した取り組みを紹介する。この接ぎ木のポイントは多くの果樹でも応用できるので紹介したい。

【背景・ねらい】

ブドウサンショウは和歌山県有田郡清水地域を主産地として国内でも生産が盛んな地域として知られている。本研究は地域の高齢化対策と増産に向けた取り組みの一環として実施してきた内容である。

【成果の内容・特徴】

今回紹介するのは、ブドウサンショウがミカン科の中でも落葉するうえに雌雄異株の果樹であるという異色の生態であることから、花の咲く時期や生産物の利用の可能性について話をまとめた。

次に管理作業の軽減を見据えた防草シートの活用による収穫量から防草シートの有効性を検証した。

さらに、ブドウサンショウは接ぎ木による育苗が通例である事から接ぎ木技術の向上を目指した取り組みを紹介する。この接ぎ木技術については多くの果樹でも応用できるポイントがあるので多くの農家に紹介したい。